

## 家族の愛と木のぬくもりを赤ちゃんへ「ぬく森事業」

### 取組に至る背景・事業の目的

少子化傾向が続いている中、新しく生まれてくる子どもを、地域をあげて歓迎する意味をこめ、村内の山から出た間伐材を利用した椅子のキットをプレゼントする。

組み立ては新生児を迎える家族が行い、さまざまなアイデア、思いを込めて世界に一つの椅子を製作することにより、家族の絆が生まれる。

村のクラフト体験館を利用して、組み立ての指導を指導員が行うことにより、クラフト体験館の利用促進にもつなげることができる。

また、村外にもPRして、村の活性化につなげていく。

### 事業内容

- 村の木材利用研究会にて、カラマツの間伐材で椅子のキットを製作。  
椅子は、小さな子どもから小学校低学年まで座ることができ、将来的には、本棚、踏み台に利用できるので、頂いた家族の皆さんは、長く愛用することができる大変好評だった。
- 製作は家族が行い、面取りのサンドペーパーがけは、お兄ちゃんが手伝い、組み立ても親子で協力するなど、生まれてきた子どものために家族が一つになった。  
名前のプレート、持つところのデザイン等はお母さんが主導権をとり、工夫をこらしていた。



【クラフト体験館での組み立て】

### 事業効果

- 子どものいる家族は、生まれてきた子どものために、それぞれお手伝いできることなど協力して、「親子でもの作りの楽しさを実感できた」と楽しそうに話してくれ、家族のコミュニケーションが図られた。
- 第一子のお子さんの場合は、夫婦で将来の子どもの姿を想像しながら製作をしていた。
- 参加者からは、「よく考えられたデザインで、日常的にも使えるのでうれしい。」と好評だった。
- 村のカラマツを使うことで、故郷への愛着を育む良い機会となった。
- クラフト体験館の施設を利用して組み立てを行うことで、村の施設を知らない人への周知が図られ、今後の利用促進につながった。

### 工夫・苦労した点、課題、今後の取組など

今後も事業を継続していくことにより、家族の絆を深め、木のぬくもりを感じてもらい、自然を大切にする心を育てていってほしい。

また、クラフト体験館での組み立ても継続し、多くに皆さんに利用してほしい。

#### 【選定のポイント】

新生児を迎えるアイデアと間伐材の有効利用、そして施設のPRと、さまざまな要素が含まれた取組で、工夫を凝らした事業であり、また家族の絆を深め、自然を大切にする心の醸成につながっている。

団体名 朝日村	事業タイプ	ソフト事業
連絡先 産業振興課	事業費	310,710円
電話番号 0263-99-2001	支援金額	310,000円